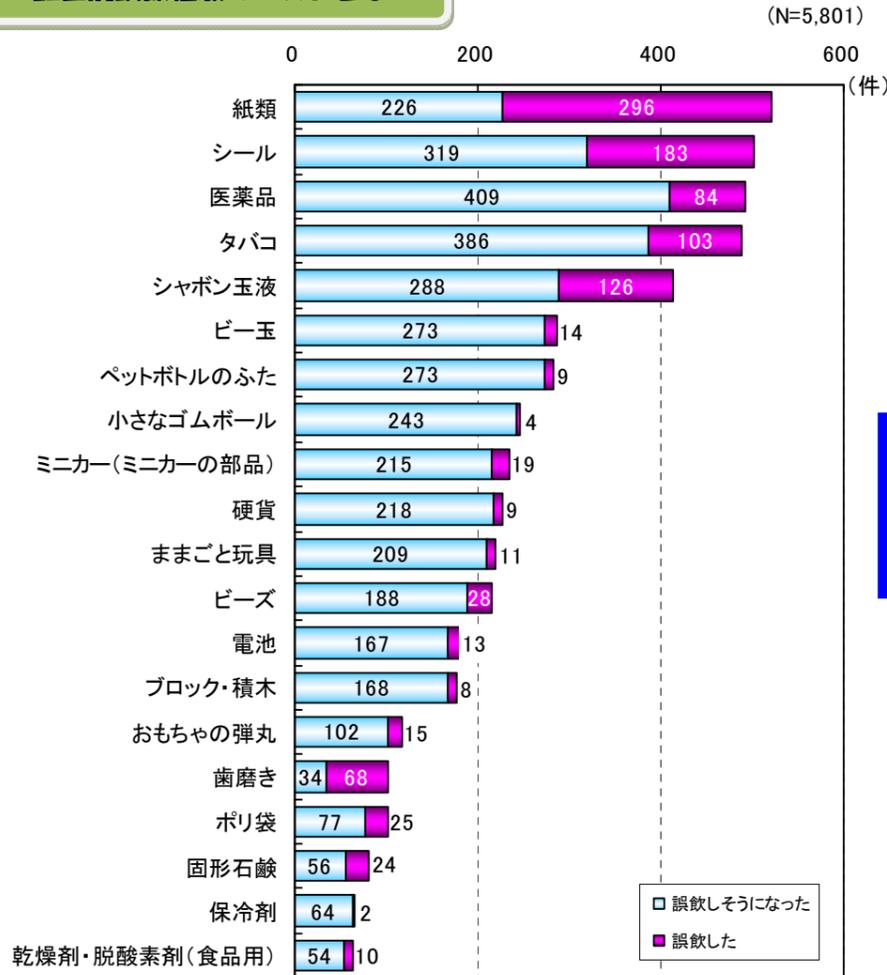


平成 22 年度 ヒヤリ・ハット調査「誤飲による乳幼児の危険」概要

紙・シール・ポリ袋など身の回りにある日用品が危険の対象に。医薬品、タバコ、電池などにも気をつけて！

2,000 人の保護者に調査！
5,801 件のヒヤリ・ハットや危害の事例が！

品目別誤飲経験ワースト 20



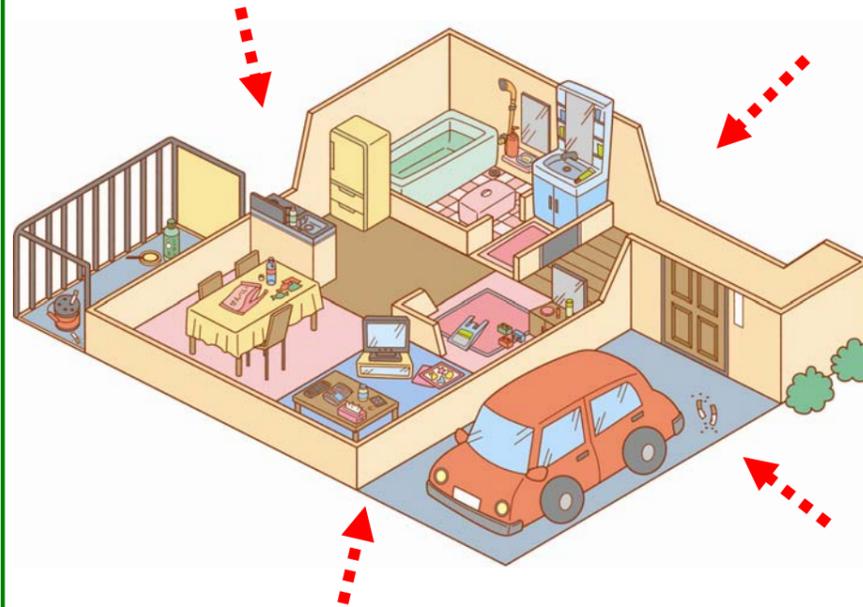
具体的な体験例は？

【紙類・シール・ポリ袋】

非常に危険な事例がありました

- 破けたビニールが喉に引っかかり息が出来なくなったため、119番通報した。一時は気を失った。(0歳女の子)
- おもちゃに貼り付いていたシールを誤飲して息が出来なくなり顔の色が紫になってしまい、手を入れて吐き出させているうちにシールが取れた。(1歳女の子)
- 息子が突然コホコホして苦しそうにしていたので見ると、宅配サービスの広告紙が散乱していてその一部を口に入れていた。(0歳男の子)

飴の包み紙、スーパーのレジ袋など、様々なものが喉に詰まったり、喉の奥にはりついた事例が報告された。シールやポリ袋は、一歩間違えると窒息の危険もあるため注意が必要である。



【玩具】

- ミニカーの上の部分についているサイレンが外れて、息子がそれを飲み込んでしまったらしい。経緯を病院の先生に話したところ、「四角いものを飲み込んだので喉に傷が付いている可能性もある。何かあったら受診するように。」といわれた。(1歳男の子)
- ブロックを口の中に入れ、取れなくなってしまった。数分格闘して、何とか角度を変えて取り出すことができたが、唇が切れて出血した。(2歳女の子)

おもちゃの部品がはずれてそれを飲み込んでしまう事例が多かった。おもちゃの部品などで角がとがったものを飲み込んだ場合、喉を傷つけることがあるので注意が必要である。また、玩具が口にはまって取れなくなるケースもある。遊んでいるときも、できるだけ目を離さないようにすることが必要である。



【医薬品】

- テーブルに置いてあったシロップの風邪薬2日分ほどを、甘いので全部飲み込んだ。(3歳男の子)
- 袋に入った胃腸薬を床に落としたまま見つけることができず、翌日に次女が見つけて口に入れていた。袋を開ける勢いで錠剤が飛び出してしまった。(3歳女の子)

テーブルの上に置いていた薬を口に入れる事例が多かった。特にシロップ薬は甘いので飲んでしまう危険がある。薬は保管場所に気をつけるだけでなく細心の管理が大切である。



【タバコ】

- 飲み残しの空き缶を灰皿代わりにしたものをキッチンの空き缶ストッカーに入れておいたところ、飲み物だと思ったのか、口へ入れた。(0歳男の子)
- 胸ポケットに開封済みのタバコを入れたまま居眠りをし、その間に息子がそこから取ってかじってしまった。(0歳男の子)

誤飲したときの状況で多かったのは、テーブルの上など子供の手の届くところに置いていたケースだった。特に吸い殻が溶けた液は、ニコチンが吸収されやすく、非常に危険である。タバコの管理には十分注意し、吸い殻はすぐに片付けなければならない。



【電池】

- 電池を飲み込んだようなので、救急で受診した。「様子を見てください」と言われ自宅に帰ったものの、様子がおかしく、次の日に再度受診した結果、喉に電池が詰まっていた緊急手術で取り出した。喉に一日以上電池があったため、ただれてしまい、1ヶ月以上入院した。(1歳女の子)

電池は、リモコンや玩具など様々なところに使われています。ボタン型電池は、子供が飲み込みやすい形状なので注意が必要である。放電しきっていない電池は、消化管に穴をあけることがある。特に、リチウム電池は起電力が大きく、短時間で重篤な障害を生じる恐れがあるため非常に危険である。



【硬貨】

- いきなりジャンプをしだし、首を押さえていたので、すぐ口を開けさせると、喉の奥に10円玉が…。あわてて頭を下にして抱え背中をたたくと、10円玉が出てきました。(2歳女の子)

硬貨などの異物を誤飲して食道に引っかかり長時間滞留した場合、食道の壁に穴が開くことがあるので、子供の手の届くところに置かないように注意しなければならない。



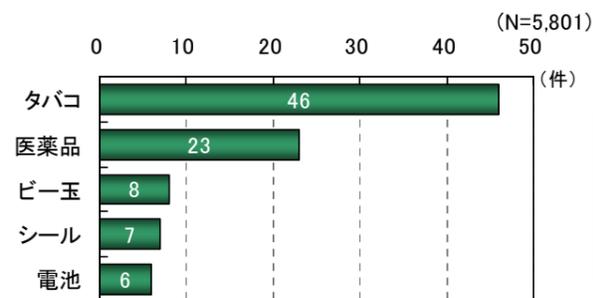
【石鹸・歯磨き】

- 石鹸がお風呂場に置いてあり、ちょうどわたあめを食べた日で「わたあめがある♪」と石鹸を口に運ぼうとしていた。(2歳男の子)
- イチゴ味の歯磨きのチューブをチューチュー吸っていた。(1歳男の子)

誤飲したときの状況は、入浴中や歯磨き中のケースが多かった。石鹸や歯磨きは、いい臭いがしたり、形が食べ物に似ているなど、子供が興味を持ちやすいので、使用中に目を離さないようにすることが重要である。



医療機関受診件数



医療機関を受診した件数が最も多いのはタバコで、医薬品、ビー玉、シール、電池が続く。医療機関を受診した中には、入院した事例もあった。